

事業群評価調書(令和元年度実施)

|       |                                  |           |          |
|-------|----------------------------------|-----------|----------|
| 基本戦略名 | 5 次代を担う子どもを育む                    | 事業群主管所属   | 教育庁生涯学習課 |
| 施策名   | (7)「地域みんなで子どもを育み、家庭教育を支援する」体制づくり | 課(室)長名    | 山口 千樹    |
| 事業群名  | ③ 家庭教育支援の充実                      | 事業群関係課(室) |          |

1. 計画等概要

|   |                    |          |      |       |       |   |       |       |           |   |
|---|--------------------|----------|------|-------|-------|---|-------|-------|-----------|---|
| (長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)<br>保護者が子どもに対して、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身調和のとれた発達を図るよう家庭教育の支援を行います。 |                    |          |      |       |       | (取組項目)<br>i) 早寝早起き朝ごはん運動の推進<br>ii) ながさきファミリープログラムによる家庭教育への支援<br>iii) 親子の愛着形成の啓発<br>iv) 基本的生活習慣の定着のための支援 |       |       |           |   |
| 事業群   | 指標                 |          | 基準年  | H28   | H29   | H30   | R元    | R2    | 最終目標(年度)  | (進捗状況の分析)<br>H30年度は、目標値には達していないものの、PTA等での周知が広がったため、実施市町数が増加した。プログラムの良さや意義を実感できていない市町が多いため、市町の取組状況に差がある。また、ファミリープログラムの周知が不十分であることも要因の一つと考える。 |
|   | ながさきファミリープログラムの実施数 |          | 目標値① | 415箇所 | 435箇所 | 456箇所   | 478箇所 | 500箇所 | 500箇所(R2) |   |
|   |                    |          | 実績値② | 255箇所 | 276箇所 | 394箇所   |       |       | 進捗状況      |   |
|   |                    | ②/①(達成率) |      | 61%   | 63%   | 86%   |       |       | やや遅れ      |   |

2. 平成30年度取組実績(令和元年度新規・補正は参考記載)

| 事業番号 | 取組項目                         | 事務事業名<br>所管課(室)名 | 事業期間 | 事業費(単位:千円) |        |         | 事業対象  | 事業概要<br>平成30年度事業の実施状況<br>(令和元年度新規・補正事業は事業内容) | 指標(上段:活動指標、下段:成果指標) |      |       |  | 平成30年度事業の成果等 | 中核事業 |     |
|------|------------------------------|------------------|------|------------|--------|---------|---|--|---------------------|------|-------|--|--------------|------|-----|
|      |                              |                  |      | H29実績      | うち一般財源 | 人件費(参考) |   |  | 指標                  | 主な目標 | H29目標 | H29実績  |              |      | 達成率 |
|      |                              |                  |      | H30実績      |        |         |   |  |                     |      | H30目標 | H30実績  |              |      |     |
| 1    | 取組項目<br>i<br>ii<br>iii<br>iv | 家庭教育支援対策事業       | H29- | 1,299      | 866    | 8,046   | 「ながさきファミリープログラム」ファシリテーターの養成・資質向上研修会を県内5箇所(共催1箇所)で実施した。県主催としては、認定フォローアップ研修会を島原市、波佐見町、対馬市の3会場で、フォローアップ研修会を、長崎市で実施した。県と市町の共催型としては、南島原市で実施した。家庭教育講座を実施できる家庭教育アドバイザーの養成・資質向上研修会を、長崎市、川棚町、五島市の3会場で実施して、16名を新規に認定した。 | 活動指標<br>講座・研修会に参加したファシリテーターの人数(人)            | 120                 | 197  | 164%  | ●事業の成果<br>・ながさきファミリープログラムの実施については、県内で394回実施し、前年度に比べると、118回増加した。また、ファシリテーターは62人を新規に認定した。<br>●事業群の目標(指標達成)への寄与・実施回数が増えた要因は、各研修会において積極的にファミリープログラムを活用し、市町教育委員会担当者等にプログラムの良さを実感してもらったこと。PTAやその他の団体等にプログラムの積極的な周知啓発を図ったことである。 | ○            |      |     |
|      |                              |                  |      | 603        | 358    | 4,783   |   |  | 150                 | 147  | 98%   |  |              |      |     |
|      |                              |                  |      | 847        | 521    | 5,581   |   |  | 160                 |      |       |  |              |      |     |
|      |                              | 生涯学習課            |      |            |        |         | 成果指標<br>「ながさきファミリープログラム」参加者数(人)   | 12,000                                       | 11,886              | 99%  |       |  |              |      |     |
|      |                              |                  |      |            |        |         |   | 13,000                                       | 13,562              | 104% |       |  |              |      |     |
|      |                              |                  |      |            |        |         |   | 14,000                                       |                     |      |       |  |              |      |     |

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

|  |
|--|
| <p>i) 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進<br/>                 ii) ながさきファミリープログラムによる家庭教育への支援<br/>                 iii) 親子の愛着形成の啓発<br/>                 iv) 基本的な生活習慣の定着のための支援</p> <p>○実施数は増加しているが、各市町の開催数には開きがあるため、格差がなくなるように市町に対して働きかけを行っていく。特に、実施回数の少ない市町の担当者と連携を図り研修会を開催する。<br/>                 ○認定を受けているファシリテーターのうち、実際に活動する意思を確認できたのが県内で153名であり、前年度より78人減っている。ファシリテーターの新規認定者数を増やすことも必要である。そのために、認定フォローアップ研修会を、県主催で3回実施することに加え、各市町と共催型で実施できるよう働きかける。</p> |
|--|

### 4. 令和元年度見直し内容及び令和2年度実施に向けた方向性

| 事業番号 | 取組項目                         | 事務事業名      | 令和元年度事業の実施にあたり見直した内容  | 令和2年度事業の実施に向けた方向性 |  |       |
|------|------------------------------|------------|---|-------------------|--|-------|
|      |                              |            | (令和元年度の新たな取組は「R元新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)  | 事業構築の視点           | 見直しの方向   | 見直し区分 |
| 1    | 取組項目<br>i<br>ii<br>iii<br>iv | 家庭教育支援対策事業 | これまで以上に、市町担当者に、ながさきファミリープログラムの効果を認識させるため、各種研修会で積極的にファミリープログラムを実施する。また、PTAだけでなく、自治会や公民館、学童など様々な団体にファミリープログラムの積極的な周知啓発を進める。 | ②                 | 実際に活動ができるファシリテーターの数が減ってきているので、市町と連携を図り、ファシリテーターの新規認定及び資質向上に向けた研修会数を増やす。また、実施数の少ない市町に対して、ファミリープログラムの効果等が認識できるよう働きかける。さらに、プログラムの周知啓発とともに、ファシリテーターの資質向上のためにも、ホームページを有効活用していく。 | 改善    |

注：「2. 平成30年度取組実績」に記載している事業のうち、平成30年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点